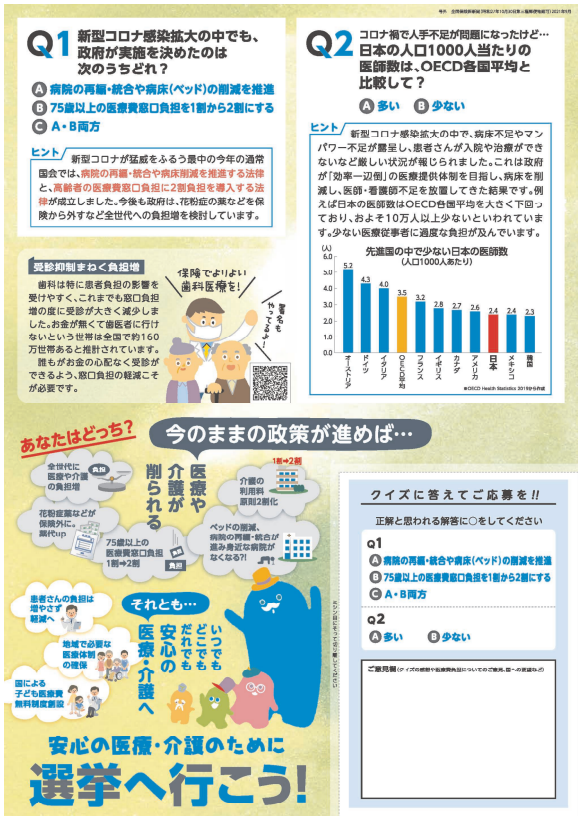
クイズハガキ「クイズで考える私たちの医療2022」に寄せられた県民の声

【実施期間】2021年８月27日～11月30日
【対　　象】長崎県民
【配付方法】会員医療機関での配布、市民団体等に配布協力依頼
【回　　収】８７５通（うち、意見欄の記載４６６通、53.3％）



【県民の声】

応募者の半数以上が意見を記載していました。医療費窓口負担や医療提供体制などに関する記述が多く、県民の切実な要求がたくさん含まれていました。下記に寄せられた声を紹介します（一部抜粋）。

○窓口負担及び保険料

〈75歳以上の２割負担化は生活できない〉

- ２割負担になった場合、短期の入院の際に高額に感じる人が増えると思います。医療事務として、入院費の概算を説明する時は１カ月分の概算と月の途中入院の場合入院日～月末までの概算を説明するように心がけています。医療費についての認識が正しく広がれば…と願うばかりです（33歳・医療事務）。
- 年金が少なくなっているのに、医療費負担が１割から２割になるのは、大変生活に影響を及ぼします。病院への通院等大変です。年寄りを大切にしてほしいです（70歳・無）。
- 75歳以上の医療費２割は、年金だけの高令者には困ります。生活出来なくなります。花粉症に悩まされているので、保険外には反対です（79歳・無）。
- 75歳をすぎての収入がない中、２割負担は、年金も少なくなるのにキツくなるのではないかと心配（70歳・会社員）。
- 75歳以上は医療費無料などの老後生活の政策を求む（73歳・パート）。
- 75歳以上の医療費負担を２割にしないで欲しい（複数意見）。
- 75歳以上の医療費負担増よりも医薬品等の価格値下げの検討を是非お願いしたい（50歳・事務員）。
- 75歳以上は１割負担が良いと思います（複数意見）。

・75歳以上の窓口負担が２割に増えるのは、全世帯にすると負担が大きい気がします。病院へ行く足が遠のく高齢者が増えるのは少し不安かなーと。コロナへの対策、大変な中ありがとうございます（33歳・パート主婦）。
・75歳以上の負担が、１割から２割にという事は聞いてはいましたが、実際、文字で読むことで改めて、認識しました。自分自身61歳になり、もう目の前の事なので、日常生活を見直し、少しでも健康が維持できるよう努力していきたいと思ってます。まずは、食生活、睡眠時間の確保（不規則を改める）ことから、始めたいと思います（61歳・看護師）。
・毎月の医療負担が２割に増えると支払いが大変になります！！（83歳・無職）。
・毎日生活するので精一杯です。２割負担では病院に行く気にならずがまんします（87歳・主婦）。
・年金が減額され医療費や納める税金は多く納めます。せめて医療費は75歳以上は１割にしてほしい。特に独身者（74歳・医療関係）。
・後期高令者の１割→２割負担増は、医療機関の受診を遠ざけてしまい、病状悪化から介護負担増へと悪循環になりかねません。再検討すべき案件ではないでしょうか？（複数意見）。
・高齢者の窓口負担は増やすべきではないと考えます。全体的に負担は減らすべきです。受診しやすいような負担を考えてもらいたい（48歳・会社員）。
・高齢者の医療費負担に２割負担は年金だけの生活ではおおきいと思います（66歳・パート）。
・50歳あたりから体調不良が身近なことになってくるのに、75歳以上ならば当たり前のように病院が必要になる。医療費窓口負担が１割から２割となれば生活費を圧迫するだろうと思うと今から心配だ（48歳・主婦）。
・老人は病院代が２割になったら大変こまります。国会の先生たちの給料をへらしてもらいたい（80歳・無職）。
・負担が増えると病院に行きにくくなるとおばあちゃんが言っていました。長生きしてほしいので、負担は増やさないでほしいです（11歳・学生）。
・病床削減、自費治療を増やすことは、仕方のないことかなと思います。しかし、高齢者の窓口負担は、２割負担は、医療を受けられなくなる人が多くなり、医療難民を増やすこととなり、国民に負担が大きいのではないのでしょうか？年金など値上りすれば良いのですが（45歳・会社員）。
・働いてない75歳以上の医療費が１→２割は、大変なことだと思う。あと数年で３割負担になるのではないかと思うと自分が老後になった時が不安でたまらない（46歳・パート）。
・窓口負担が２割になるのは、納得できません！！どうにかして下さい！！（33歳・事務職）。
・窓口負担増の理由は明確に政府は説明してない。高齢化はわかっているので他で財源を求める施策をするべき（57歳・会社員）。
・少ない年金で生計を立てられている方などに２割の医療費を請求するの少々辛いです。同時に自分たちの老後の生活や必要とする医療費の事が心配になります。暮らしやすい未来を望みます（57歳・医療事務）。
・所得の少ない高齢者に負担がかかるといけないと思う（61歳・会社員）。
・収入のない人間の医療費窓口負担を増やすのは納得出来ない。この先平均年令に死に行くまで医療費窓口負担の増加でどのように手当すればよいのか…！（67歳・歯科衛生士）。
・収入額関係なく高齢者の２割負担は将来が怖い。負担分の補助制度（医療費控除など）手厚くしてほしい（28歳・大樹生命）。
・年を重ねると病院に通うことも多くなります。今迄日本を支えてきたお年寄りの方の負担を増やすのは絶対おかしいです！（38歳・事務）。
・何年か前は全額タダだったのが１割負担になり、今度は２割負担になろうとしているこの現状！その時になってから、こんな政策を続けていたら老人がふえる一方なのに、年金にも影響をあたえる事になるので、余裕をもって対策を立ててほしい（66歳・店員）。
・後期高齢者にあと少しでなるのに２割のままとなり残念に思う（複数意見）。
・加齢と共に病院に何ヶ所も夫婦で通院しています。今は１割負担でがんばれていますが、これ以上の負担は耐えられません（77歳・無職）。
・医療費が75歳以上１割から２割にする政策は歯科の分野においては良い事かもしれないが、内科、外科などの医療においては患者の命にかかわるので負担増は厳しいと思う（61歳・歯科衛生士）。
・持病をかかえているので75歳から１割になるのはありがたいので、２割になるのは反対です（68歳・無職）。
・今から医療や介護の世話になるのに１割負担から２割負担になるのはひどすぎる（不安だ！）（66歳・無職）。
・今の状態から医療費の負担が２割になると、もう病院にいけなくなってくると思います（88歳・無職）。

〈高齢者の負担増はやむを得ない〉

・高齢化社会に突入する今、高齢者の負担が増えてもしかたないと思います。１割だからと多数の受診と薬を処方されてムダになっている医療費が多すぎます。病院と患者に監査や保健指導をしっかりして欲しいです。非正規の給料は低すぎると思います（61歳・会社員）。
・高齢者２割負担はいいと思います（42歳・会社員）。
・高齢者が増え続けているので２割負担はしかたないと思います。働く若い人の負担が大きくなるし、その分のお金を子育てとかに回したほうが、日本の未来のためには良いと思います。75歳以上でも所得の多い人は３割とかにすべきです（56歳・パート）。
・老人の人口が多くなり、若者が少ないので、老人も少し負担しても良いと思います。なんでも上がっていって大変です。皆様元気で生活していけるよう願います（52歳・歯科助手）。
・これからは、介護利用すると思われます。当然若者だけに負担させるのではなく、我々高齢者にも、医療窓口負担に２割に導入するのは、当り前の事と考えられます。こうゆうクイズ形式で我々にももっと理解すべきだと思いますので、おおいに老後の医療介護の見直しを記事にして下さい（79歳・主婦）。
・妥当ではないでしょうか？窓口負担が大きいと検査なども我慢してしまいます。負担を少なくすると少子化の子供達に負担がかかりすぎて困ります（52歳・看護師）。
・若い人に負担をかけたくないので、収入による２割負担は仕方ないと思います（75歳・主婦）。
・おかげ様で１割から、２割になった事で嬉こんでいます（74歳・会社員）。
・超高齢化社会の今、高齢者の負担を１割から２割にするのは賛成です。今までが１割というのが少なすぎると思います。また、子育てに対する考え方や支援は昔より改善されたとは言え的を射た制度がなかなかないので、もっと世論を取り込んで欲しいです（５歳・幼児）。
・長生きの時代になったので医療費の２割は仕方ない。次の世代も大変だと思う（83歳・無職）。

〈医療費負担を軽減してほしい〉

・医療費は増やさず、軽減してもらいたい（複数意見）。
・誰もがお金の心配なく受診ができるよう窓口負担の軽減こそが必要ではないでしょうか？少ない医療従事者に過度な負担がかからないようにしてほしいです（71歳・求職センター）。
・応能負担の原則を確固不抜とし、抜け道を利用しないよう国民全体で監視することも大事だと思います（63歳・主婦）。
・15歳未満の医療費負担は市町村によって違うと聞きました。ぜひ、国全体で無償化にして頂きたいです。現役世代の負担ももう少し下げて、気軽に医療が受けられる様になると良いと思います（38歳・パート）。
・高齢者だけでなく全世代の医療や介護の負担増に反対。大企業の法人税、富裕層の所得税を増やし社会保障を充実してほしい（63歳・主婦）。
・患者さんの負担は少ない方がいいです。子ども医療も18歳まで無料にしてほしい（48歳・看護師）。
・患者にばかり負担を増やして、病気になっても病院へ行きづらくなる（65歳・自営業）。
・患者の自己負担が増えていくのは、とても困る。年はとっていくばかりなので安心して医療や介護をうける事ができるようにして欲しい（56歳・医療事務）。
・患者の負担を増やすことばかり考えないでほしい。他に考えるべきことがあるのでは(35歳・事務)。
・難病指定の医療費負担をもう少し引き下げて欲しいです。一生かかわりあっていく病気のため少しでも負担を軽減してもらえるように（45歳・パート）。
・アレルギーの薬は鼻炎がある為常用しているので保険外になるのは困る（29歳・看護師）。
・インフルエンザ予防接種代無料にほしい（６歳・園児）。
・院外処方になったりで私達の自己負担が少し増えたように感じます。花粉症の私には、花粉症の薬が保険から外されると更に負担が増えるので、やめてほしいです（39歳・会社員）。
・家族で花粉症であるため、今後花粉症の薬が保険適用から外れると困ると思いました。医療費の削減効果は花粉症の患者たちの苦しみと表裏一体です。今後どのような議論がおこなわれていくのか注目していきたいと思います（57歳・公務員）。
・花粉症の薬は、保険外にされてはこまります。主人と娘は、毎年花粉症の薬を飲んでいます。75歳以上の医療費窓口負担は１割にしてほしいです。うちのおばあちゃんはお金をもっていないからです。介護の利用料１割にしてほしいです。年寄りはあまりお金をもっていない。コロナ患者を受け入れしている病院の医師、看護師さんに国から、手当をもっとあげるべきだと思います。看護師さんがどんどん退職して、ヘルパーの人達が、たいへんな仕事をしている所があります（私の妹の所です）（60歳・パート）。

・花粉症は、本当にきついので保険適用のままが嬉しいです！（38歳・会社員）。
・花粉症薬が保険外になると困る方が増えると思います。アレルギーの方には耳鼻科、皮ふ科、呼吸器など、多くの病院に通う方もいると思います。現行のままで保険で診察（通院）できればと思います（46歳・パート）。
・花粉症薬などが保険外になるのは困ります。重度の方も保険外になれば、家計の負担が大きくなり、病院の受診を控えることにつながるのでは！と心配です（50歳・会社員）。
・75歳以上の医療費窓口負担を上げたり、所得が低い人～一般の所得の人の税を上げるより、大企業の法人税や富裕層の所得税を見直すべきだと思います（27歳・主婦）。
・原爆・生保の人から500円でもいいので負担してほしい（複数意見）。
・生保の人からも一部負担してほしい。若い働き世代（独身）の方にも何かしら助せい金などあったらいい。子どもがいる世帯ばかり給付金手当があってムカつきます（47歳・受付）。
・医療にかかる負担金は国民全員下げてほしい（51歳・会社員）。
・医療は誰でもが少ない金額で受診出来るような社会になってほしいです（27歳・教員）。
・医療費が高いので月の医療費も多いので３割から少なくして欲しい（50歳・主婦）。
・医療費が高くなるのは、年金暮らしにとっては大変ですが、少しは協力しないといけないかなと思っています（69歳・無職）。
・医療や介護の負担が増えるのは困る（28歳・会社員）。
・医療費の窓口負担を２割（全国民）に一本化したらと思っています（高額所得者は３割でも）。若い方も一律３割は負担が大きいと常々思っています。よろしくお願い致します（58歳・医療関係）。
・医療従事者又、お手伝いされておられる皆様たいへんお疲れ様です。病気で１割で医療費を負担できたのは、嬉しく思いますが、少しでも軽減できればと思います。安心、あんぜん、な日本（58歳・パート）。
・医療費の負担は少ない方がいい。子どもや高齢者は特に少ない方が助かる（35歳・無記入）。
・医療費の負担今の時期に大きな負担です（10歳・学生）。
・医療費をもっと安くして欲しいです（複数意見）。
・医療費・介護費の負担増は生活が大変になります。花粉症も病気で苦しいです。保険外はおかしいです（67歳・自営業）。
・必要な人が、苦にならないように、窓口負担割を考えてほしい（54歳・主婦）。
・必要な人が必要な医療をきちんとうけられる状況になればよいと思う。病院や医師の数も特に地方には不足していると感じるし、医療費も１割でさえ、払えない人もいるという実態を知って欲しい（73歳・無）。
・専業主婦での婦人科での医療費が高くキツイ時があります。３割でも高いのでもう少し安くなると良いなと思います（27歳・専業主婦）。
・病院にかかったら、お金がかかるので、減らしてほしいです（10歳・学生）。
・病院に勤めているがあまり医療の問題等考える事が少ないので良い機会でした（32歳・病院受付）。
・病院に常にお世話になっている私は、医療費の負担が大きくなるのは、大変困ります。~~ぜひお願いします！！~~（38歳・公務員）。
・私は沢山病院に通っているのですが、生活が苦しいので、もう少し医療費を下げて欲しいです。これから年を取ってゆくので、心配がなおさら募ります。そして、医師だけでなく、作業、理学、言語療法士も増やしてほしいです。お願いします（59歳・パート）。
・私は不妊で、１回体外受せいをしましたがダメでした。保険がきかず、100万ぐらいかかりました。２回目ちょうせんしたいですが高くてなかなか２回目に手が出ません。薬代だけでも保険がきくと、不妊の女性にとってはうれしいです（40歳・会社員）。
・持病などで、色々な病院に通院しないといけないと医療費も結構かかってしまうので、もう少し援助があると助かるのになと思います（30歳・会社員）。
・国民に大きな医療負担をさせないようにしていただきたいです（44歳・会社員）。
・今のままの改革がすすむと単純に負担者増が押し付けられる（62歳・団体職員）。
・社会人になるまで、子ども医療費の負担を減らしてほしい。手続きなしにしてほしい（14歳・学生）。

〈矯正を保険適用にしてほしい〉
・歯医者に行き治療する負担がもっと減ると良いといつも思います。歯の調子等悪いと身体にも影響があると聞いた事があるので安く済むと早く行って歯科医院に行くのが、苦にもならないし、治療費も安く済みます。歯も万病の元です（60歳・会社員）。
・お金の心配なく、歯科を受診できたらいいなと思います。医療費は切実な問題です（51歳・パート）。

・矯正を保険適応にしてほしい（複数意見）。
・毎週の歯の検診をしていただき、食物をかみしめる幸せを日々感じています（79歳・無職）。
・歯の矯正の診療は保険適用にしてもらいたいです。自己負担が大きすぎます。歯列矯正は健康な歯を維持するためにも必要な事ですが、高額な治療費がかかるので諦める人もいると思います（41歳・公務員）。
・歯科について、早く治して欲しい歯を最後にされます。途中の転院を防ぐ為と思われます。技術がいいのに…転院する者はいない。患者の気持ちを大事にして欲しい（72歳・無職）。
・歯科の定期検診は初診料ではなく再診料でしてほしいです（43歳・会社員）。
・歯科医院の受診控えについて記載がありましたが、まさしく我が家でもそうだと思いました。ケガなどと違い、つい先伸ばしにして医療費の負担が医科と歯科が同時期に重ならないように調整してしまいます（14歳・学生）。
・歯科受診の必要性は理解できますが現状は子供達の体調を優先に何事も行っているため自分は後回しです。医療費は負担を考えると受診できないことが多いです。体調をくずしても検査費を考えると受診できずにいます。医療費は上げないでほしいです。どちらかというと公費で負担してほしいくらいです。収入が中間層（下の方）はとてもつらいです（54歳・看護師パート）。
・インプラントに保険がきくといいです。花粉症の薬は保険からはずさないで欲しい（64歳・主婦）。
・お金（治療費）がなくて歯医者にかかれない人が居るとは知らなかった。子供（小中学生）の健康診断（歯科耳鼻科）検診後の検診票の未提出の中には未受診の子供が居たのでは（居るのでは）と考えさせられる（21歳・学生）。
・定期的に行っている歯科は大切な所です。永くお世話になる必要な場所に安心していける環境にするのが国のやくわりだと思います（62歳・主婦）。
・このチラシに同感です。誰もが、お金の心配なく受診ができ、窓口負担の軽減が必要だと思います。かかりつけの歯科では、コロナ禍でも定期ケアをしていただき、ありがたいです。歯科では、クラスターもないらしくすばらしいです（60歳・パート）。
・このままでは歯科だけではなく病院にも受診しづらくなる（67歳・自営業）。
・医療のことについてまだまだ知らない事ばかりだと思い勉強になりました、矯正歯科の診療は保険適用にしてもらいたいです（41歳・パート）。
・とても勉強になりました。たしかに、よっぽど痛くならない限り歯医者は後回しにしています。大企業や富裕層の方に協力して頂き、負担がこれ以上増えないようにしてもらいたいです（50歳・会社員）。
・医療制度の実態を考え知る良い機会を頂きました。歯科受診しておいしく食事ができる事が幸せにつながるので患者の負担を増やさないで下さい！！（69歳・看護師）。
・子供２人が歯並びに問題があり、歯科矯正が必要ですが、保険適用外であり費用の負担が多く、検討中です。少しでも補助等があれば有難いです（48歳・無職）。

〈いつでも、どこでも、だれでも、安心して医療を受けられる体制を〉

・病院の削減は反対。75歳以上の窓口負担は、一率でなく所得に応じて行う（細分化）。財政を健全化して未来に債務を残す事はあってはならない。若者への負担を減らし（減税）子育て世代にゆとりある生活をしてほしい（66歳・無職）。
・病院の病床削限は反対です。なぜなら今後突然変異ウイルスに対応できるようにする病床確保はするべきであり国政府の義務と責任である。75歳以上も３割でよいと思う。予防医療に力を入れるべき。特に歯周病ケア。なぜなら歯周病は全身病だから（61歳・無記入）。
・コロナ流行ではじめて、ベッド数が少ないことを知った次第です。安心できる医療・介護を切に望みます（80歳・無）。
・コロナで医師不足を強く感じました。「人の命」病院に入院して経過をみてほしいものです。自宅では、かんがえさせられるのではないでしょうか。病院の医師数ふやしてほしいです。先生方、忙がしく動き回られくたくたではと心配になります（61歳・無職）。
・コロナで国民が苦しんでいる時にベッド削減の法案を導入する政府が「国民の命を守る」掛声が空しい気持ちです。この気持ちは選挙で示すしか方法は無いと思います（73歳・無職）。
・コロナで病院も病床もたりない状態なのになぜ、統合や病床削減をする法律が成立したのかわからない（51歳・主婦）。
・このコロナ禍になるまで、私は、日本の医療体制は、いわんや日本国は先進国だと思っておりました。間違っておりました。いまだ発展途上、開発途上国でした。日本国民の民度の低さなのでしょう。そうです。選挙に行かなければなりません（66歳・無職）。

・クイズを見て、コロナ感染拡大でテレビでも入院できないと言っていますが、病床削減を推進しているのはびっくりしました。ぜひ大きくとりあげて問題にしてほしいです。テレビでは病床削減はあまり言っていないです。政治家の選挙は行っても医療費へは税金から出さない姿勢ダメですね。コロナ対策も進まず、ワクチンも効果が分からない中ストレスばかりがたまる世の中です（63歳・会社員）。
・新型コロナ感染症治療のために専門病院を設備してほしい（複数意見）。
・病床（ベッド）数は多くしてほしい。医師数も安心して医療が受けられるように確保してほしい（66歳・無職）。
・病床の削減や窓口負担を２割になど、とんでもないことです！いずれは私たちの世代の負担も増えるのでは？と、危惧しています。窓口負担の軽減、ぜひ実現してほしいです（50歳・介護福祉士）。
・病院の再編・統合は、如何なものでしょうか！！（68歳・無記入）。
・病院の再編・統合や病床の削減には反対です。在宅医療にも限界があり、家族の負担があまりにも大きすぎます。共倒れしそうです。その上高齢者の窓口負担も増やすとなると、お先まっくらになります。どうか、もっと国民の声に耳をかたむけて欲しいです（54歳・主婦）。
・病院－自宅の中間施設なども充実しないと病床削減で困る人も出てくると思う（47歳・パート）。
・病院の再編・統合は、マイナスな点が多く思う。そうなると在宅医療される医師をふやしてほしいと考えます（58歳・自営）。
・日本の医師の少なさに驚きました。コロナのことで、医療全体に国民が関心を持ち続けていって欲しいと希望します（65歳・会社員）。
・超高齢化社会なのに病床を減らしたり、負担割合を増やしたら、病院受診したくてもできない人が増えると思う（29歳・会社員）。
・新型コロナの医療体制で日本の医療崩壊がおきてしまいました。全国民が安心して医療を受ける権利が侵害され不安は日々続きました。共に頑張り、どうにか今の現状をうちやぶりましょう（61歳・教員）。
・新型コロナ感染拡大で医師・看護師不足、保健所統合により、職員の不足がよくわかりました。国の政策として、人数を増やして、過度な負担の解消を行なってもらいたいと思います（56歳・公務員）。
・クイズに答えるにあたって、医療関係の動きがわかりやすかったです。勉強になりました。コロナウイルスの流行で医療体制が必ずしも十分ではないことが全国民のしるところとなりました。病院を受診できないことが起こるなど、これまで思ってもみませんでしたので、改めて医療の充実が必要だと痛感しました。どんな時でもどのような人でも十分な医療が受けられるよう、もう一度根本から考え直す時期であると思います（60歳・公務員）。
・お医者さんにも看護師さんにももっと誰もがなりやすく、学校にお金がかからないようにしてほしい（複数意見）。
・もっと医師数を増やさなければ今後の高齢化社会に対応できない。医療従事者の負担が年々増していると私自身実感しています（49歳・医療事務）。
・もっと看護師を増やして危機的対応が出きるようにしてほしいと思います（複数意見）。
・医学部、歯学部６年間は長すぎる！学業４年実務（研修）２年にして早く育てた方が良いと思う（47歳・会社員）。
・医師、看護師不足と云われますが、まだ都市部は、田舎と比べたら多い方だと思います。田舎では、医師、看護師の高齢化が進み閉院される所もあります。当地区では、開業されているクリニックでも、ほとんど入院はできず、外来だけとなっています（63歳・主婦）。
・医師の数が少ないと知りませんでした（複数意見）。
・医師の数を多くするのも必要だと思いますが、医師が古い知識のままでなく定期的に試験をして更新するような、システムも必要だと思います。又政府がていあんしている家庭医も必要でしょう。少し悪くなっただけで大病院に行く人を減らすためにも、また過疎地域の医療についても、医師を振り分けるなどが必要だと思います（62歳・無職）。
・医師数については、少ないと思います。一人の負担、勤務の中でつきそいに行った時～少し人数を増加させることが必要に感じました。コロナに入った事で、ますます大変だろうと～。充分な看護の充実をはかってほしいものだと思います。家族の中に病院勤務をしている者がいます。勤務のハードさは、他の人には理解できないものがあります（71歳・無職）。
・医療体制の充実を強く感じます。人の命を守るためにも病院が減る事は考えさせられます（69歳・無職）。
・医療費、社会福祉費が毎年増えるなか、医療現場で働く職員、医師の賃金、同時に事務職員の給料の増額など医療関係職員の働き方改革を。特にサービス残業問題（83歳・なし）。

・緊急時医療体制の充実を図って欲しい（65歳・会社員）。
・具合が悪くても医療費が高いと我まんしてしまう人はたくさんいるのでいつでも安心して受診できる医療・介護であってほしいです（39歳・受付）。
・人命を扱う医療は、もっと力を入れるべきです。医師や、コメディカル人材育成、経営など余裕がない為、今の様な困らんがおきました。手厚い財源が必要です（57歳・主婦）。
・数年前市の病院を再編するのか？なくなるという話しがあり心配していました。コロナが始まり今ではなくてはならない病院です。介護保険も私達が必要になった時、本当に使えるのか不安しかないです（53歳・主婦）。
・心身の健康は、幸せな暮らしの第一番、まさに“健康第一”です。個々人のあらゆる状況（身分、住居など）に関係なく平等に受けられるものであってほしいですし、医療現場で働く人々が過度の負担なくやりがいのある環境で医療・介護に従事できることを望みます（51歳・会社員）。
・新型コロナウイルスが拡大して、改めて常に受診ができる体制を整えている医療機関の方々のありがたさを感じています。国はきちんと地域医療を守って欲しいです（16歳・学生）。
・少子高齢化で医療費の確保もむずかしいとは思いますが、国の力で考えて頂きたいです。それと医師や看護師さんも実は希望をしていたり実際はもっと沢山いるのではないかと思います。私の子供は今年、大学の看護科に入学しました。国立の看護科の人数枠をもっとふやしてほしい。国立の他の学部には入れる学力があっても、希望する看護科にギリギリ届きそうになかったので、なくなく県立大を受けました。希望する子供はたくさんいます（53歳・会社員）。
・資源のない日本は医療関係者にもっと力とお金をかけ外国との貿易に「日本の医療」を使えるようにしたら良い。今のままでは優秀な人材ほど日本から出ていってしまう（52歳・会社員）。
・人口の減少もあるこのご時勢、長寿で病院のお世話にもなる事が増えゆくのに、人手不足があることは不安です（39歳・工員）。
・医療にかかわる方の体制やしくみが良くなり、働く方がふえるようになればと感じました（43歳・アルバイト）。
・医療費負担増、医療従事者の過度な負担、いつでも、どこでも、だれでも、安心の医療・介護を受けられる世の中にして欲しい！（58歳・会社員）。
・医療者さんが増えるとコロナとも共存できる気がします（31歳・ネイリスト）。
・医療費の負担を少なくし皆が安心して受診できる様、医療従事者の教育にも力を入れて欲しい（43歳・事務）。

〈医療制度全般〉

・とっても解りやすい説明されてるクイズでした。10年程前より巻き爪で悩んでいます。ワイヤー治療で歩けますが、治療しなければ痛くて歩けません。数年前より保険がつかえなくなり100％自費となりましたが、なぜなのでしょうか？年金のみの生活です。保険診療が出来るようぜひともお願いします（75歳・なし）。
・医療費が高いと、自宅死などがふえると思われます（46歳・看護師）。
・医療費が高くならないようにお願いします。安心して、医療・介護が受けられるようにお願いします（67歳・主婦）。
・医療費削減の流れを止めよう。病院再編を停止させよう（73歳・自由業）。
・患者さんの負担が増えないようにお願いします。安心して医療・介護が受けられるようにお願いします（70歳・パート）。
・18歳まで医療費額の負担をへらしてほしい。介護保険の負担をへらしてほしい（38歳・会社員）。
・中学生まで医療を無料にしてほしい（43歳・介護師）。
・誰でも安心して医療、介護を受けられるよう体制作りをしてほしいものです（複数意見）。
・誰もがお金の心配なく安心して受診できるようになってほしいと思います。しかし、受診する程でもない症状で、受診される方もいらっしゃる様に思います。まずは、各人の健康管理が大切だと思います（57歳・看護師）。
・誰もがお金の心配なく受診ができるように窓口負担の軽減が必要だと思う（複数意見）。
・安心して医療介護が受けられるようにしてほしいものです（複数意見）。
・96歳ですが、年金が大きいので税金も支払い大きいですので、もう少し、医療費を安くしてほしいです。収入が大きい、少くないに関係なく、平等にして下さい（96歳・無職）。
・子どもが必要な医療が受けれる様に高校生まで医療費の助成があってほしい。高齢者は薬の管理がむずかしいため、同じ薬が家にたくさん残っていたりする。少しでも無だな薬が減るといいと思う（33歳・看護師）。

・子どもの医療費が無料になると良いと思います（36歳・無職）。
・子どもの医療費を全国統一して18歳まで無料にしてほしい。家庭の経済状況で、受診ができない生徒が多い。歯科受診が進まないのが心配（52歳・公務員）。
・子ども医療費の負担金を減らして下さい（13歳・学生）。
・お金が無く病院に行けない、という状況をどうにかなくしていきたいです。皆で考えていきたい！！（27歳・無職）。
・日本の医療の現状がわかりやすかったです（43歳・パート）。
・日本の医療体制が悪化してきており一般市民の安心がおびやかされ始めていると感じます。将来が不安にならず、この国なら安心という制度作りをこれからも望みます（40歳・会社員）。
・日本が先進国と言われているのに他の国と比べると、いったいどこが先進国なんだと言いたくなりました（63歳・パート）。
・クイズで今の医療の知らない状況を知れました。75歳以上の窓口負担を２割へするのはかわいそう。余裕のある企業や人に負担を増やしてもらいたい（29歳・歯科助手・受付）。
・クイズの問題等、答えが、非常にわかりやすいですね。説明がくわしくて、納得できます。低所得者は、負担が軽減できる事を望みます（73歳・主婦）。
・クイズを解いて初めて日本の現状を知った。このままだと、必要な時に必要な医療や介護が気軽にうけられないかもしれないとわかり、不安な気持ちになった。安心して医療や介護を受けれるよう、ちゃんと選挙に行こうと思う（26歳・教員）。
・クイズを通して、知識を整理したり、知らなかった情報を得たりすることができました。応能負担の原則を徹底して社会保障の財源を確保して、安心して医療や介護をうけられるようにしてもらいたいです。世の中の格差を是正するべきです（76歳・主婦）。
・これからの医療、介護問題が不安になっています。私達も年金は毎年下がるし、生活苦になり毎日どういうふうに生活すればよいのか？しかもコロナになりこの世の中は病気にならないように気をつける。医療負担金を１割→２割はとてもいいことです。賛成！！ムダのないお金の使い方をしなくてはいけません。国もよく考えて政治をしてほしいです（58歳・アルバイト事務）。
・これからの生活を思うと、たとえ持病があっても病院へ行くのをためらう様になりそうです。社会保障の財源に弱者をあてるのではなく、もっと弱い人達の生活を知ってほしいと思います（61歳・主婦）。
・高齢者の病院掛け持ちは非常に負担になる。割引制度はありませんか？（73歳・なし）。
・高齢者の負担は、少くお願いしたいです（複数意見）。
・高齢者や子どもの医療費負担は少しでも少ない方がよいと思います。経済的理由により医療をあきらめる事のないように願います（53歳・看護師）。
・高齢者が増加していく中、医療費、介護費の負担を削減してほしい。子どもの無料制度創設はいいと思います（45歳・看護師）。
・妊娠中、産後数カ月の病院代の負担額、無料やクーポンなどあると助かる（２歳・園児）。
・妊娠中の医療費を無料にしてほしい。産婦人科以外での別の科（内科など）産後１年ぐらいは診察料の軽減をお願いしたい（37歳・主婦）。
・病気ではないといいますが…妊娠、出産は手当てを頂いてもたくさんのお金がいります。不妊治療は当事者にとって病気と同じくらいつらいと思います。不妊治療・出産費用への援助をもっと充実させないともっと少子化が進むと思います（29歳・看護師）。
・不妊治療費の助成推進、子供の医療費を無料にするなど少子化問題を改善する政策を期待します（37歳・会社員）。
・皆保険制度があるから安心して医療機関にかかることができています。これからは老人にしかなっていかない私にとっては、安心の医療そして、介護が必要です。大いに考えなくてはならないことですね（51歳・公務員）。
・皆保険制度だけは、絶対守っていくべきと思います。コロナ対策失敗で日本中が大変でした。削減した病院など元に戻してほしい（71歳・なし）。
・すべての人が安心して病院へかかれる様になってほしい…！（66歳・病院受付事務）。
・どの地域も子育て世代、幼い子供への政策は手厚い。子供を持たない人も多い。皆、平等に年寄りになるのだから安心して老後を過ごせるよう老人にこそ手厚い政策をとるべき。子育て世代はまだまだ頑張れるから大丈夫！（55歳・会社員）。
・独身、未婚、夫婦だけの人たちにも、何かしらの手当がほしい（37歳・調理師）。
・やはり今の日本は、お金がないのですね。何をするにも、お金は必要です。でもないとすると、もう少し国民からか、もっとせつやくするかだと思います。今では高いと思う健康保険料、検討がいりますね（70歳・無職）。

・医療費の負担が本当に受診が必要な人よりもそこまで必要でない人や、保険をずる賢く使用している人が多々ある。国は目をつぶっている所があり、本当の見直しをしてもらいたいと思います（51歳・メディカルアシスタント）。
・医療費の増額がワクチン開発等の戦略的展開に使用されることを期待する（65歳・会社員）。
・医療費の負担額は所得に応じた負担にして頂きたいです。所得が少ないから希望する治療を受けられないのは、不平等と思います。どんな人でも平等に医療を受けられる様にして頂きたい。コロナ禍で命の選別が始まってしまったと日々感じています。とても悲しいことです（37歳・事務）。
・医療費等の窓口負担が増えるのは困るが、医療費がこれ以上ふくれあがると国民皆保険制度が破綻する可能性もあるのが心配。歯科に関しては技工士の減少で入れ歯などが海外発注にならない方策を考えてもらいたい（62歳・無職）。
・個人の年収に合わせた医療費の負担体制にしてはどうでしょうか（39歳・理学療法士）。
・富裕層に所得に応じた課税をするのは賛成です（51歳・会社員）。
・負担が大きいと困るけど未来も平等と思えるように今の内から考えてほしいです（39歳・事務）。
・負担は少ない方が良いし、保障がある方が良い。将来の不安がないようにしていただくと有り難い（39歳･公務員）。
・老若男女関係なく安心して医療がうけられる国にしてほしい。政治家の報酬を国民の為に使ってほしい（47歳・歯科助手）。
・医療費と保険料のバランスが合っていないため、無駄な検査を少なくし医療費をおさえる（63歳・団体職員）。

〈介護に関して〉
・介護保険が高い。負担が多い。医療費高いと、病院にいく回数へって、病気が悪化しやすい（49歳・看護師）。
・介護保険はらっているけど、使わない人もいる（突然死などで死亡して）。はらった分だけもったいないような感じ（76歳・年金生活）。
・介護士さんの給与の待遇をよくするようにしてほしい（69歳・無職）。
・介護保険の負担が大きい（79歳・無職）。
・介護保険料が高くなりびっくり。9000円です。今迄夫婦入院したことがないのでこれからも体に気をつけたいと思います（75歳・主婦）。
・いよいよ介護を受ける年齢になりました。年金暮らしのため、少しでも負担が少なくなるよう、皆様が活動して下さっている事に感謝申し上げます（73歳・無職）。
・現在の介護をみてくれるのは、必ずしも子供がというわけではない中で、負担が大きくなると、共倒れになったり、様々な事件に発展したりと、色々なことがおきています。１人に対して多くの方が助け合う環境にして、介護される本人も気持ちの負担などなくなるような世の中になって欲しいです。独居の方、老夫婦の方、子供世代の方に色々な人に負担がなくなりますように！！（33歳・会社事務員）。
・祖母を介護してるのでこの上、医療、介護の負担が増える事は考えられない（61歳・無）。
・いろいろとくわしくてわかりやすいです。要望としては、介護保険料がもう少し安くなったらと思います（70歳・無職）。

〈コロナによる生活困窮〉
・コロナウイルスと闘う医療従事者のみなさまに大変感謝しております。コロナが落ち着いたら、ゆっくり休んでほしいと思います（54歳・無記入）。
・コロナが早くおさまりますように（50歳・会社員）。
・コロナで収入が減ったので、病院の窓口負担がへると嬉しいです！（43歳・会社員）。
・コロナで収入減している人もいるのに医療費等増やされるとみんな生活保護を受けるようになってしまう。今は生活保護受けている人が収入安定してるのかもしれない（28歳・自営業）。
・コロナで振りまわされ外出もままならず医療費の負担が増し今の政策では政府は何を考えてるのか安心できません。与党も野党もわかちあって手を取り安心して生活できるようにしてほしいです（82歳・主婦）。
・コロナで大騒ぎしだした昨年から国会議員は検査を増やす、等々（ベッド数等）云いながら今だに実行されずいつでもどこでも安心して医療を受けられる様にしてほしい。アベノマスクから始まり税金をムダにバラまき一体誰れの為に何をしようとしているのか全く不明。私の税金はムリやり取

られもっと有意義に使ってほしい（78歳・無記入）。
・コロナになってやっと国の政さくが誤っていたと気づいたと思います。安心して一生をすんでいる所で終えたいと思っています。地域のお医者様たよりにしています（50歳・無職）。
・コロナにふりまわされ収入もままならず何もかも負担増では我々老人は生活が安定しません。今後の政府に期待します（80歳・自営業）。
・コロナに罹って入院も出来ず亡くなった方がいます（又は病人の選別等）。このような（助かるべきものが助からないという）ことが無いように、野戦病院を多く準備して置くべきです（89歳・主婦）。
・コロナのためにがんばってくれて感謝します。ありがとう！！（35歳・パート）。
・コロナの影響で患者さんの足が遠のいています（67歳・医師）。
・コロナの薬が早くできますように。死者が減りますように。コロナが早く収束しますように（11歳・小学生６年生）。
・コロナへの対応などお疲れ様です。医療・介護は切実な問題です。大企業の税金増で対応してほしいです（59歳・無記入）。
・コロナワクチンの12歳以下に接種できるワクチンができればいいと思います。コロナウイルス感染症の特効薬が早くみつかればいいなと思います（11歳・小学生）
・コロナ下にあって、病院のあり方、医師・看護師の不足は明白です。政府はどこを見て、政りごとをすすめようとしているのか！選挙で“物申す”国民が増えないと、と節に思います（65歳・主婦）。
・コロナ禍で、日本の医療体制や保健所の重要性、政府の責任がいかに重いか、他国と比較し、痛感しました、あるべき姿に、まっとうな医療福祉体制に変えなければと思っています（63歳・会社員）。
・コロナ禍で医療・福祉・介護・保育・教育を日頃から常に充実させておくことの重要性がよ～くわかりました、私は現在50代、老後が不安です。夫と二人暮らし、子いません。兄・夫側にも子はいないので、誰にも頼ることができず、元気な体つくりに心がけていますが老いた時金銭面で周囲に迷惑かけないか気がかりです。若い世代の負担にならない社会にしたい。してほしい（51歳・主婦）。
・コロナ禍で医療関係の方が一生懸命働いて下さっていることに感謝致します（82歳・なし）。
・コロナ禍で本当に人生が変わった気がします。医療費窓口負担が１割から２割になると生活できなくなります。年をとるにつれあちこち体のひずみがきて大変です（76歳・無職）。
・コロナ禍になるまでは、なんとかなっていたことが、どうしようもなくなってしまったのですよね。政府の「効率一辺倒」の施策のしわ寄せが、医療従事者の方の負担になっていると思います。“いつでもどこでもだれでも安心の医療・介護へ”（55歳・無記入）。
・コロナ感染拡大で、都市部では医療崩壊が顕著に表れています。早く、だれもが安心して医療を受けられるように社会保障を充実する為、財源確保にもっと政府は余裕のある大企業などの税金を増やしてほしいと思います（19歳・医療事務）。
・コロナ感染中は各医療関係の方々は大変だったと思います。まだ終息はしていませんが、本当に御苦労様でした。※早くマスクが外せる様になればいいですね…（76歳・老人会会長）。
・コロナ対策で経営も大変な状況です。医療費においては、非正規雇用労働者、所得に応じた課税にすることかと思います。また、薬の乱用も考える必要があると思います（58歳・看護師）。
・コロナ対策をもっと政府は実施してほしい。コロナが全国ゼロになるまで、新しい総理大臣にはがんばってほしい。医療費はできるだけ安くしてもらいたい（71歳・掃除アルバイト）。
・普段の生活すら大変な中でコロナ感染拡大により収入も減少した方も多い時に、医療費まで負担が増えてしまうと受診を控える方も増え、結果より負担がかかることもあるので、より対策を考えなければいけないと思います（37歳・受付）。
・この２年間近くコロナの増加で社会生活が悪影響を受けたので、これからは日本もワクチンとか薬を開発して頂きたい。こういう事が起きない様に希望します（60歳・パート）。
・このコロナ禍で医療や介護の負担増は、しかたないのかなぁと思うのですが、もっといろいろと削減するところは、他にあるような気がします。国がしっかり考えてほしいところです（52歳・パート）。
・このコロナ禍で医療費負担が増えるのは家計にも、それを背負っていく子供達にも負担となるため、国をあげて色々取りくんで頂きたい。このクイズで再度考えさせられました（53歳・会社員）。
・まだまだ続く“コロナ”みんな頑張ろう！（63歳・飲食店アルバイト）。

〈年金〉
・食料品やガソリン代など物価の値上りがあいつぐ中で、年金生活者は苦しい状況です。医療費の窓口負担が増額されると、ますます生活が苦しくなります。安心して、医療や介護をうけられるよう

な政策に変えてほしいです（65歳・農業）。
・年金生活者（母）は物価の上昇で苦しい。患者の負担は軽減して欲しい。医療や介護の負担増により、利用する人のみならず、介護する側も又利用者減の為仕事がなくなり、給与が減る、悪循環です（46歳・家事手伝い）。
・老後2000万円は平均的年金をもらって１割負担の場合。不足分今後は老後3000万円問題になるのでは（59歳・会社員）。
・年金が減っているのに、医療費の増額するのは病気になっても受診できない人が増えてしまうと思う（27歳・会社員）。
・年金受給者にとっては、医療の負担が大きいです。介護保険にしてもなんでそんなに支払いしないといけないのか疑問です。早く負担を少なくして欲しいと思います（65歳・無職）。
・年金生活している人の負担を上げる必要はないのでは。年金額も年々少なくなっているので大変です。75歳以上どうしても病院が必要な年です（57歳・会社員）。
・年金生活で経済面が苦しい中、医療費窓口負担を１割ですむよう、お願いします（69歳・主婦）。
・年金生活になると収入が減り、医療、介護の負担が増すと生活が大変になる（64歳・陶器製造）。
・年金生活の親の負担が増えるのは、子どもの世代にも負荷がかかります（52歳・主婦）。
・年金暮しの高令者の窓口負担減を希望。高所得者から負担してほしい。富裕層など（85歳・無職）。
・ぎりぎりの年金生活者の下層階級の者にとって病気になったら死を宣告されたようなものです（80歳・無職）。
・現在、年金で生活をしています。病院の窓口負担が増えると生活が苦しくなります。お金の心配なく受診できるように軽減策を考えて下さい（71歳・無職）。
・もうすぐ年金生活になるので、75歳以上の医療負担が増える事が身近に感じられ不安になります。年金もコロナ対策で税金をたくさん使っているので減るでしょうし…。今後の生活が心配になります（59歳・保育士）。
・定年をむかえます。限られた少ない年金の中で医療費の負担が大きくなるのは困ります（59歳・会社員）。
・医療費の負担が増えるとますます病院受診が少なくなると思いますのでせめて年金生活の方の負担増はやめていただきたいです（62歳・会社員）。
・財源が必要なのは理解できるが年金暮らしの高齢者にとっては負担が増えるのはきびしいと思います（39歳・会社員）。
・コロナ禍で財政も大変だとは思いますが年金生活の方の負担は現行のままで行くことが望ましいと思います（52歳・会社員）。

〈高齢化などの生活･将来〉
・老後が心配です（44歳・会社員）。
・老々介護という現状。働きたくても働けない現状。田舎では助かる命も助からない現状（63歳・無職）。
・負担額は上がる。年金支給額は下がる。生活はひっ迫しています。身体の調子が悪くてもついつい、通院を我慢してしまいます。長生きするものじゃないなと、最近思っています（87歳・主婦）。
・高齢になってからの医療費の負担をすくなくしてほしい（複数意見）。
・高齢になり、病院にかかることが多くなり、医療費負担が増えると家計のやりくりが大変になり生活が苦しくなります。どうにかしてほしいです（66歳・無職）。
・高齢になり窓口負担増はとても負担になります（70歳・主婦）。
・高齢の親がいるので、窓口負担が増えるのは困ります（52歳・無記入）。
・わずかな年金で生活苦しい。この先生きていくのが不安。「年金払うより生活保護もらった方が絶対に得だよ」との声をよく聞く（75歳・無記入）。
・これから病気、けが等増える年令になり、医療費かさみ、不安である。年金も少ないし、保険料も上がる。食費を切りつめながら、老後の構築も考えなければならない生きにくい世の中である（67歳・なし）。
・これまで定期検診や早期治療を受けて来た為、現在も元気に生活しているのだと思います。今後も何か異常が起きた場合に早期治療が受けやすい環境を作って欲しいです（64歳・主婦）。
・ただでさえ病気が増える年令になってきましたが、高齢者２割負担になるのですね。コロナでマスク代もかかるようになり所得は無いのに出費ばかり増えています。楽しみになることが無い世の中です。税金が上がるのも目に見えているので若い世代の負担が増え子供も増々少なくなりますね。世知辛いです（67歳・主婦）。

・75歳以上の負担増は自分達も含めて今後の老後が心配（51歳・主婦）。
・先々不安しかない（75歳・無職）。
・長年生きていると心身ともに疲れて病気もします。小児、若者、弱者への医療とともに高齢者にも安心して医療を受けられる体制を作っていただきたい（60歳・講師）。
・年をとるにつれ、医療の事が気になります。そのうえ経済的にも負担が増えてくるので、老後どうなるかと不安でいっぱいです（61歳・切花業）。
・年を取っても医療費の負担は多くなってくるのだなあとガッカリします（60歳・主婦）。
・年齢と共に身体の不調が増え、医療機関にお世話になる事も増えています。そして長年通院している内科や歯科の負担も少しずつ増えパートの身では家計が苦しくなっています。コロナ禍で増々健康が脅かされているので安心して治療がうけられるようにしてもらいたいと思います（61歳・放課後児童支援員）。
・自分たちが、働く時になって、税金も上がって医療費も上がってとなると、負担が大きいと将来不安です（15歳・学生）。
・自分たちが高齢者になったときはいまのままではどのくらいの負担になるのか不安で仕方ない（32歳・事務）。
・人生100年と言われるようになりましたが健康年齢も100歳とはけっしていえません。必要なときだけでなく予防のための政策が大切だから現在のあり方を見直し実行してほしいです（66歳・主婦）。
・人生100年時代と変わってきた今、更に老後の生活に不安があります。だれもが個人で老後資金を備えておける状態でもないので、社会保障制度が本当に頼りです。病気になった時、病院へ行こうと思える支払い額であって欲しいと思います（39歳・会社員）。
・医療費負担（高齢の）が３割にならないか不安です（59歳・主婦）。
・医療費負担増はしようがないが年金が減少されて来ているのできびしい感がある（複数意見）。
・現在は夫と二人、大病もなく生活していますが、今後の事はわからなく、この生活が続けられれば良いですが、もしもの時を考えると、年金生活なので、医療費の負担が上がるのは心配です（72歳・家事）。
・医療費の負担が増えることは40代の私にとって将来的に不安だな、と感じました（37歳・歯科受付）。
・私は現在74歳です。70歳以上の医療費が１割から２割になり、こんど75歳になったらマタマタ２割負担になるなんて、医療難民を増やすことになる。安心して医療を受けられる制度にしてほしい。軍事費を減らせばできる（74歳・なし）。
・私も高齢になっていき、75歳の時２割負担→３割負担になっていないか不安です。よろしくおねがいします（62歳・会社員）。
・私達が高令になったら、負担は３割とか４割になるのかな？と不安になった（45歳・パート）。
・私達老人の負担が増せば、病気にかかっても、働く事ができなくて、収入がないので、年金だけでは、生活が出来ない状態なのに病院に行けず、苦しい思いをしないといけません。医療介護が削られると本当にこまります。患者負担増絶対反対です！（65歳・無職）。
・自分が歳をとったときに２割負担になったり、ベット数がへったりするのは、こまります。このチラシは今まで、知らなかったことがよくわかりました（40歳・主婦）。
・今後自分が年をとっていく過程で医療を充分にうけられるのかと、たまに不安になってきます。政治を通して官民一体で、健康な人が一人でも増える事を願います。健康が一番の幸せです！！（45歳・会社員）。
・保険を使う年代になって負担増。年金も少ない。老後預金も少ない（58歳・会社員）。
・医療や介護くらい安心して受けたいものです！！（61歳・主婦）。
・健康で文化的な生活を営むうえで安心の医療・介護は切り離せません。私達が声をあげ続ける事で少しでも良い方向に進むことを期待するばかりです（55歳・会社員）。

〈政治への意見〉

・“ゆりかごから墓場まで”日本が一歩一歩近づけますように希望いたします（74歳・なし）。
・消費税の増税にて生活苦に成っております。家の修理のため売った土地の金に税金を支払う事になり、日常の生活にも困っていて…、屋根の修理出来ない（79歳・なし）。
・働いている世代でも必ずしも収入が多いと限りません。これ以上の医療費自己負担が大きくなるような政策はしないでほしい。収入に応じた負担割合にしてほしい。税金が無駄な政策にばかり使われていると思う。医療機関や本当に必要としている所に使われるような仕組みをもっと考えてほしい。尾身会長の話をもっとちゃんと受け取めて、コロナを更に拡げるような事はしないでほしい。今は経済よりも命を守るべきではないかと思う（40歳・事務）。

・クイズのヒントがなければ、答えられませんでした。ニュースや新聞はみているつもりですが、恐いですね。こうやってわかりやすく、キャラクターもあって啓発することはとても　大切だと思いました。お金（税金）の使途について“目”を光らせないとダメですね。もともと消費税は福祉の充実に使われるということで導入されたと思っていましたが…。コロナ禍で“もうかった”大企業もあるはず！そこに課税をして社会保障へ廻して欲しいです（62歳・公務員）。
・看護系や医学部の専門学校、大学の学費補助金の検討。看護師の離職率問題の改善（29歳・会社員）。
・給料は上がらないのに医療費の負担増は本当に困ります。富裕層や貧困層以外も税の優遇制度を取り入れていただきたいです（40歳・臨床検査技師）。
・今回のコロナが良い教訓だったと思う。違う病原体が発生し、パンデミックになる可能性が大になることを頭に描いておくべきだ。このためにも医師・看護師など医療従事者の確保のための、予算措置をとることが重要だ。そのため、質の良い政治家を国民が選ぶことで、今回の政権に期待するものの一人です（69歳・無職）。
・社会保障の財源づくり。①余裕のある大企業、富裕層の方々への応分の負担をお願いしたいと強く強く願います。②「お金がないから受診できない」から「誰れでも安心して受診できる」世の中へ（51歳・看護師）。
・お年寄や子供達が安心して暮せる日本またそれをささえる若者たちが育つ日本になってほしいしその為に使う税金やったら上げることにも賛成です（64歳・介護職）。
・かかりつけ医院でこのようなパンフレットを目にし、改めて医療や介護について考える機会をいただき、感謝しております。所得に応じた課税にして格差をなくし、安心して医療、介護を受けることができる社会の実現を目指すべきです。国は国民ひとりひとりが財産です。票取りだけの選挙に走らず、国民に寄り添う政治を行ってほしいです（64歳・障がい者施設介護支援員）。
・いつも見てますが、なまぬるい政治は人を助ける事は出来ません。尾身先生の意見を良く聞いてほしい（88歳・なし）。
・コロナにかかっても入院が出来ず自宅療養とは政治の貧困です。とても先進国とは言えません。自民党に代われる政党が絶対必要です（76歳・会社役員）。
・連立した党の公約を果たす為のバラまき給付金やポイントより恒久的政策を示してほしい。派遣やアベノミクス等言葉のマジックに惑わされない中身のある不公平さを失す、課税の見直しを是非実現してほしい！期日前投票は（コロナ禍）混雑を避けるため行って投票したが該当理由が相変らず、仕事、用事、身体理由、交通便等、（形式的なことだけで）１票を無駄にしない投票参加意欲を尊重したものでない旧態依然な雰囲気の投票場だった（66歳・主婦）。
・政府はもっともっと医療や介護の問題に真剣に話し合いよくしてほしいです（69歳・自営）。
・国の税金のムダ使いが減れば高齢者の医療費負担増もふせげるのではないか。もっと血税を有効に使ってほしい（33歳・看護師）。
・国はもっと研究や医療従事者を育てることにお金を使い、資源のない日本を医療なら日本といえるような国にしたら良い（複数意見）。
・国会議員の方々は、家庭が裕福であります。他の人々は、生活で精一杯なのです。物価は上がり、年金も減る一方ですね。誰が総理大臣になっても何も変わりませんでした。もっと広ーい目で、国民を見て頂きたいです。皆が住みよい日本になる為に…（73歳・主婦）。
・国民皆保険の日本でも、経済的な理由から医療や介護が必要な状況であっても受けられない人達がいます。コンビニ受診を避ける、重複の薬を減らす、病気の予防等受ける側の努力も必要と思いますが、個々人の努力ではどうしてもできないところは社会保障制度で整えるべきと思います（61歳・パート）。
・国民健康保険制度が続いてくれる事を願っています。その為の財源を作れる様、国は考えて下さい（67歳・主婦）。
・医療費があがると大変困ります。母の施設（グループホーム）も負担が大きくきついです。このままでは、健康にすごすこともできません。貧乏人は、早く死ネ！と言われているようです。なんのための消費税、政治なんでしょうか？金もち企業や、金持ちの政治家は、自分の為の政治をして、私腹をこやしてるとしか思えません（57歳・会社員）。
・社会保障の財源で大企業や富裕層の所得税が引き下げられている事を知り驚いています。もっと低所得の事を考え政治家も自分の保身だけを考えずに頑張ってもらいたい！（73歳・ナシ）。
・社会保障をはじめ、多くの財源は国民の血税です。正しく使っていく事を強く希望します。不正をしても辞職する事で、責任追及をされない政治家にいつも疑問を持っています（44歳・会社員）。
・マスクなどコロナで不必要な税金の無駄をなくし、必要としているところに税金を生かすことをしっかり考えて使ってほしい。国を豊かにすることをもっと真剣に考えて活用してほしい！（60歳・公務員）。

〈その他の意見〉

・将来、若者の負担が増えてくるのが心配である。雇用体制も正規雇用を原則。健康で長生きできるよう薬に頼らず、最小限の薬で生活できるよう、日ごろから食生活運動に心がけていきたい（64歳・無職）。
・クイズの解答で沢山学ぶことができました。とてもいい時期に受診したことを嬉しく感じ、来年も来院したいと強く思ってます。色々なチラシに目を通して、選挙にも行き、ＳＤＧ’sの世の中になることを周りの人にも語っています。チラシインパクトがあり、すばらしい！！(76歳・無)。
・自分の医療と政府との関連がよく分かるように設定されたクイズだと思います。今まで、選挙の投票場所が遠かったため、天候の悪い日、足場の不安定な日は行っていませんでしたが、このパンフレット及びクイズを解答するにあたり、改めて選挙の大切さを痛感しました。今後は行きます！もちろん！安心の医療と介護の為に選挙に行きます！！政治にも関心をむけます（82歳・無）。
・2020年からのコロナで国はなにができたのか？「アベノマスク」を配っただけではないか！（59歳・病院事務）。
・娘と一緒に受診した際に、このハガキ（クイズ）を手にとりました。待ち時間の間に記事やクイズをして日本の医療体制の現状を考えるきっかけとなりました。娘も“自分が大人になった時どうなるのかな”と難しい問題ではありますが、興味を示し、医療・介護、それを決める政策・政治（選挙）と幅広い分野に目をむけるきっかけにもなりました（38歳・パート）。
・面白い（71歳・無職）。
・12歳以下にも接種できるコロナワクチンができればいいなと思う。コロナウイルス感染症の特効薬も早く開発されるといいなと思います（複数意見）。
・クイズで楽しく政策を知れて、とても良い取り組みだと思います。将来きちんと選挙は投票しようと思いました（８歳・学生）。
・いいたいことが多すぎて書けません！！（49歳・会社員）。
・８月に骨折で入院、手術、リハビリを病院でしたが、入院費も思ったより安く病院も本当に親切で初めての入院で病院とは縁のない私でしたが満足した。これを機に注意して暮しも見直す事にしました。払った金額では国も大変だと実感しました（74歳・なし）。
・クイズのヒントの文体が良く、すばらしいと思いました、医療費負担については、保守系の医師会が弱くなったためではないでしょうか（89歳・無職）。
・クイズの問いのヒントを読むと、知らなかったことが知れて良かったです。ただ、選挙でどの政党に（誰に）いれたらいいのか。(57歳・臨床検査技師)。
・クイズ形式で政府の実施や医師・看護師不足等が知る事が出きたので今後もこういう企画をしてほしいです（51歳・事務職）。
・こども世代の負担が少なくなると、受診しやすい環境になると思います（25歳・公務員）。
・このチラシを見て現在の実状を知りました。社会保障の財源はつくれます！全くそのとおりだと思いました（60歳・自営業）。
・とてもむずかしい問題でした。消費税10％で生活も苦しくなっています（61歳・主婦）。
・とてもわかりやすく学ぶことができました（39歳・会社員）。
・すごく勉強になりました（複数意見）。
・ヒントがとてもわかりやすかったです（複数意見）。
・国が負担すべき費用として、インフラの老朽化、自然災害への対応、環境問題対策、エネルギー対策など多岐に渡ります。少子高齢化がさらに加速する中、国が負担する介護、医療費は削減すべきだと思います。そのためには子供の頃から学校、社会で健康、長寿のため、健康寿命を伸ばすための教育が必要だと思います。またストレッチ運動、エクササイズの機会、場所の提供を行なう事。また国民はセルフメディケーションの意識を高め、国の負担すべき費用を低減化すべきだと思います（36歳・パート）。
・今日的課題をクイズにとり上げていただき、あらためてべんきょうになった。私が常日頃から思っている事は、よくなる見込みのない患者に対して、機械で生かされている様子をみて、国の方も大変だと思う。ある程度治療してダメたと思う時は「安樂死」や「尊厳死」患者の死ぬ権利を与えていいのではないかと思います。そうする事によって国の方もいくらか医療費が減へるのではないか。今のままでは国がつぶれますよ（76歳・無職（元公務員）。
・今のままの政策では恐くて安心の医療・介護をしてほしいです。なので選挙にいきましょう（68歳・主婦）。
・今の自民党政権は、国民の命など露ほども考えていないと思います。自宅療養を国がすすめるなど考えられません。すでに医療崩壊ではないですか！子どもたちの未来のためにも今、政権交代を実現せねば！（70歳・女性団体職員）。

・私達はおとなしい、何もいわない、いっても同じだとなんかあきらめています。いう手段もわからず。政治家にうんざり。いくら反対しても強行に推し進められ借金だらけの財政がっかり。どうしたら良いのでしょうか（71歳・なし）。
・私は島原民主商工会の会員です。税金のことは、勉強・学習しています。全国保険医団体連合会様がいわれるとおりだと思います（69歳・自営）。
・私立大学病院や、JCHOがコロナ対策で政府から補助金をもらっていながら現場投資をしていない。医師、看護師を新たに雇わない。危険手当を支払わない（でも黒字を出している）。コロナという緊急時に、災害指定病院の軸となる所なのに一般病院よりも極度に少ないコロナ患者の受け入れであるという報道を見ました。許せません。心あるお医者さんや看護師さん、病気やけがで苦しんでいる方々がより苦しむような制度は、変えていくべきだと思います。効率、金もうけ主義の病院はいりません。人々に地域に寄り添う医療（病院）であって欲しいと思います（47歳・パート事務員）。
・消費税10％は、本当に痛い。大企業の法人税、富裕層の所得税が引き下げられるとか、わけがわからない！！医療費負担が大きく、コロナ禍で失職者は多く、今の日本は全く明るい政治がされていると思えない。すぐに改善されることではないと思うが、誰かがじゃなく自分自身で変えようという気を持ちたい（51歳・事務職）。
・消費税の仕組みがおかしいのが、根本的な間違いではないでしょうか。一千万円以下は申告の必要なく、支払った分は利益になります。物価が上がるのと同じことになっています（90歳・無職）。
・消費税は福祉に使われるものと思っていましたが今の状況を見るとおかしいですね。コロナになって政府は自分達が進めていた政策が誤りであったのはみとめず、ますます国民に負担がかかるようです。全国保険医団体連合会さん、がんばって下さい（73歳・無職、年金ぐらし）。
・消費税値上げの際は、これからの高齢化社会に備えるためとしていたが、税収が増えた分はどこに行っているのでしょうか（81歳・無）。
・選挙の大切さを本誌で知り大人になったらきちんと投票しようと思いました（11歳・学生）。
・前回も応募しましたが当たりませんでした。悲しかったです。医療機関の皆様お疲れ様です。全国保険医団体連合会の皆様は、国民の向上をめざしておられると、ホームページで知りました。本当に感謝しております。何もできなくてすみません。コロナに負けず、皆で頑張りましょう（命あっての、生活です。いつもありがとうございます）（39歳・主婦）。
・来年70歳になります。医療費の窓口負担増には不安を感じます。歳をとるといろいろなところに症状が出て受診回数が増え、どんどん家計を圧迫します。歯の方も今年から入れ歯になり、将来が心配です。「みんなでストップ患者負担増」がんばってください！（68歳・無職）。
・両親が高齢なので、よくお金がないと言っています。日本国民が１人でも笑顔になれる世の中になる事を願っています。幸せな国に認定されたいですね！（40歳・パート）。
・保険医新聞の「論点」を読ませていただきました。日本の医療政策の貧しさを改めてヒシヒシと感じました。長崎でも成人病センターは医師、市民病院の「機構」への移管にずっと反対してきました。コロナ禍の中、いのちを軽視する政府の姿勢に強い憤りと不安を覚えます。保険医協会の先生方がんばってください（69歳・無し）。
・不要なダム（石木ダム等）や不要な新幹線（長崎など）を作らないで、高齢者がどんどん増えているので医療・介護費用に資金をまわして欲しい（69歳・なし）。
・ニュース等で聞いていたはずなのにいつの間にか忘れている事をこのクイズで再確認しました。地方や弱者をさらに追いつめる法律は誰が考えてもおかしいのにそう思わない人が作っていくのでしょうね。声をあげていかなければと思いました（60歳・主婦）。
・ヒントがとても親切。病院へ行かなくてもいい位、健康な身体になれれば良いけど…そうもいかず悪くなってから通院ではなく日頃からのチェックが必要と思います。まずは自己管理できるように努力します。特定検診のお知らせ等、国は親切すぎます。最初の通知だけでイイと思う。何度も送ってくれて切手代がすごいだろうなと…それも税金なのにな…と思います（46歳・主婦）。
・選挙には行きますが、名前・政党の連呼では政策がわからず、いつも不満です。テレビ放送では情報操作されているようで信用できません。国会においてもいい大人が時間を無駄にしているだけで信憑性に欠けます（60歳・パート主婦）。
・長崎県保険医協会様では、被爆体験者の救済を求める署名活動、引きこもりの方への就労支援、市民向け講演会等様々な社会貢献を行って頂いていて、県内では本当にありがたい素晴らしい団体だと思っています。今回は意見というより、感謝の気持ちをお伝えしたいと思いました。今後とも益々のご発展をお祈り致します（52歳・専業主婦）。
・長崎市の子どもが病院を受診した際の負担額を無料にしてほしい（０歳・無記入）。
・保険料の納期を守ります（57歳・会社員）。
・薬代がもう少し安くなったら嬉しい（58歳・主婦）。

・余裕のある大企業の税金を増やし高令者、年金生活の税は、引き下げて（76歳・無）。
・予約していても予約時間によばれず長時間待たされるのはさすがにどうかと（60歳・会社員）。
・社会保障の財源を毎回、高収入の企業や個人に頼るのはどうなのかな…と思う（56歳・主婦）。
・社会保障の財源大企業の税金を増やすのに賛成です。又、非正規が増え過ぎなので正規雇用希望の人にはチャンスを与えてほしい（87歳・無職）。
・社会保障の事は知らない知られてないことが多いので発信力を強めてほしいです（53歳・パート）。
・社会保障の充実、特に医療に力を入れてほしいです（55歳・会社員）。
・所得もそれぞれの家庭や個人でちがうのに低所得者ばかりが苦しまず高収入の方の税率アップや企業にも負担して頂き、格差が広がらない様な世の中にしてほしいと願います。お金がなくて医療を受けられないなど悲しすぎます（59歳・会社員）。
・将来のために選挙に行かなきゃ！と思いました（40歳・公務員）。
・医療費負担の増が年々増していくことが分かってきています（クイズで分りました！！）。社会保障の財源を守る為に余裕のある大企業・裕富な個人所得者の税額を増やして欲しい（73歳・主婦）。
・安心安全な生活は、生きる基本になります。より良い日本のため、大切にしたいです（65歳・無職）。
・医療・介護に対する政策など考えたことなかったのでいい機会でした（21歳・事務）。
・医療の知識を深めるきっかけとなりました（27歳・会社員）。
・医療費が増えていくなか健康管理に気をつけて病気にならない様にしよう（65歳・主婦）。
・医療機関の受診も気になりますが、整骨院の受診が多く、自治体の補助のあるので、沢山おられるのが気になります（66歳・看護師）。
・我が家では、以前から病院にかかることはほぼないです。常日頃から食生活に気をつけています。国も添加物（石油から作られた）だらけの食料（加工品）やわけのわからぬＧＭＯ商品、ゲノム編集食品に対してもっときびしく制限し、もともと日本にあるすばらしい伝統食を見直し、食生活や運動などの指導に税金を使い､病院へかかる方々の数を減らす方向に力を注いでほしいと思います。質の良い調味料、基本だと思うし、大事です。You　are　what　you　eat？と言うじゃないのですか。アメリカにあるようなwhole　food　storeを全国に作ってほしい！（52歳・保育補助）。
・給料は上がらず、物価と毎回の保険料への出費は大変なものです。選挙への税のムダ使いを止め、少しでも国民へ使う様にしてほしいです。クイズ企画は面白かったです。また企画してほしいです（33歳・会社員）。
・後発医薬品メーカーのトラブルで医薬品の入荷がとってもとどこおっています。患者さんがこまっています（47歳・看護師）。
・高れい者医療費高い。クイズはヒントがわかりやすくて答えやすかった（50歳・看護師）。
・高額医療や子供の医療費助成などとても助かってます（64歳・アルバイト）。
・昨年より入院、手術をし現在もリハビリを受けています。毎月の治療代が重み大変です（病気療養中の補償だけでは足りません）（50歳・会社員）。
・子供の医療費負担が大きく、ちょっとしたことでも、通院させたくても、負担が大きすぎて、連れて行けない（45歳・会社員）。
・子供の医療費無償化に賛成です。現在、長崎県は小・中学生の医療費は償還払いです。共働きの家庭が増えています。忙しいです。せめて現物給付にして頂きたいものです（37歳・会社員）。
・私たちの医療をささえて下さっている医師、看護師の方々に感謝・感謝です。がんばれ！！（57歳・会社員）。
・私たちの世代に税負担増を背負わせないでほしい。パンフレットにあるように「社会保障の財源は作れます！」の提案に絶対賛成です！！（41歳・会社員）。
・私はホテルのパートをしています。いわれるとおりだと思います（69歳・パート）。
・年々個人の負担額が増えているようなのでこれ以上上がらないで欲しい。自身も健康で生活し、いざという時の医療費も貯めておきたいと思った（30歳・医療事務）。
・必要な医療を受けられる日本にしてほしいです（無記入・看護師）。
・日夜たがわぬ保団連のみな様のご奮闘に敬意を表します。ビラに書いてある通りです！社会保障の財源はその気（政府）になればつくれます。軍事費を減らすべきです（わたしたちの生活に役立たず危険にするだけと思います）。今後も今回のような危機が再び来ると思います。もっと医療体制を充実改善すべきです。共にがんばりましょう！！（69歳・無）。
・病院で看護師として働いています。今のところ私の病院ではコロナはでていませんが、毎日ヒヤヒヤです、コロナ下なので看護師、薬剤師、栄養士募集してありますがなかなか入ってこられず病院は大変です。人手不足です。これから小学生のコロナ注射も始まるとＴＶで言っています。10代の感染者が増加している今、注射後副反応をしっかり対応してくれる病院を確保して欲しいです。病床のない小児科が多いので（48歳・看護師）。

・分かりやすくて、参考になりました。子供にも伝えていきたい課題も多いことがわかり、家族で話し合いをもてたことが良かったです（37歳・主婦）。
・勉強になりました。医師数が不足しているとは思っていませんでした（42歳・主婦）。
・政策で決まっていても、知らない人が多い。介護や身体障害者も、受けられる資格があっても、行政は丁寧に教えてくれることはない。ケアマネも、ソーシャルも現状、不親切だと思うケースが多い。知らない人が損をしている。受けられるサービスや、負担を減らす為にどのような制度があるのか、まずそこをしっかり教えてほしい。行政は不親切（37歳・介護士）。
・高齢化が進み、国民の医療費は増える一方。しかし、それを賄う財源は不足…という悪循環。安易に病院を受診しなくてすむように、市販で購入できるくすりの種類を増やすとか、予防医学などに力を入れたらどうかと思う（57歳・事務員）。
・高齢化に伴なう医療費負担増は、年金暮しにとっては大変厳しいものです。ますます、富裕層との格差が広がるばかり！国の政策に反映するためには、選挙で私たちの意見を反映していくことも必要（65歳・主婦）。
・社会保険の扶養に入るために130万円以内のしばりがありますが、世帯の人数や子供の人数なども考慮して、多い世帯は150万など増やしてほしいです（39歳・パート）。
・人口が突然増加する事はありませんので、長期的な計画が必要だったのに、これからの人々に負担が大きくなる事に怒りを持ちます（73歳・無職）。
・やはり誰でもお金の心配なく病院に通院し治療してもらえるようになると、人生が楽しくなると思う。ぜいたくはいいませんが、病気は早く治したいと思います（64歳・看護師）。
・医療費負担増はこまります…。少しでもそれが伝えられるよう、選挙へ行こうと思います（48歳・会社員）。
・医療費負担増は仕方ない事なので一人ひとりが健康管理に努める（63歳・団体職員）。
・現実的な問題で良いと思います。医療費は負担が大きいです（72歳・無）。
・限られた財源を正しく効率的に、必要な所に使うことで、みんなが健康を保つことができたら良いと思いました（43歳・会社員）。
・高令者・社会弱者が安心して暮せる社会医療制度の改悪を許さない！（75歳・無職）。
・今後も高齢化や人口減少にともない医療費や介護費を中心とした社会保障費は上昇を続け、現役世代の保険料負担は増え続けると思います。私たち１人１人がこの問題に興味関心をもち、声をあげていくべきではないでしょうか（41歳・会社員）。